

2021年度 全国学力・学習状況調査 豊岡市の結果概要をお知らせします

1 教科に関する調査

【調査の目的】

「子どもたちの学力がどれくらいついているのか」「学習に向かう意欲や態度はどうか」等を調べて成果や課題を明らかにし、これまでの教育活動を見直すことを目的としています。調査結果を子どもの声と捉え、「分かる授業づくり」に向けて全ての学校で授業改善を一層進めていきます。

※なお、本調査により測定できるのは「学力の特定の一部」です。（文部科学省）

【調査の内容】

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容、実生活において常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など
 - ②知識や技能等を実生活の様々な場面に活用する力 など
- ※上記の①と②を一体的に出題。調査対象⇒小学校6年生と中学校3年生。

結果の概要

※2017年度から市及び県の平均正答率が整数値で公表されたのに伴い、全国平均正答率も整数値で表しています。

『豊岡市の平均正答率は、全国平均正答率と同程度(±5ポイント以内)です』

	小学校6年生 (正答率%)		中学校3年生 (正答率%)	
	国語	算数	国語	数学
豊岡市	62%	68%	65%	57%
全国	65%	70%	65%	57%

結果の分析と今後の取組(豊岡市学力向上検討委員会から)

国語部会から

【成果】

◎「国語の勉強は大切だ。将来に役立つ」と回答した子どもは9割を超えている。

【課題】

▲目的に応じて要約したり、条件を把握して書いたりすることに課題がある。

【対策】

- ①文中から**必要な情報を選ん**で要約したり、**一定の条件下**で書いたりする。
- ②話し合う場で「比較」「分類」「関連づけ」等の**考え方を活用し思考を深める**。

◎市全体の成果(国語、算数・数学ともに)正答率40%以下の割合は全国平均並みです。学力の2極化が解消へ向かい始めました。

算数・数学部会から

【成果】

◎計算する、グラフの数値を読み取る等、基礎的な内容の正答率は高い。

【課題】

▲文章から関係を読み取って式を立て、説明する問題の正答率は低い。

【対策】

- ①根拠を明確にして、**自分の考えを説明する学習**をより一層大事にする。
- ②他の考えと比較したり、話し合ったりして、**自分の考えを深める学習**を行う。

▲市全体の課題無回答率の高さが目立ちます。算数・数学科より国語科での無回答がより顕著です。

このような問題が苦手です!!(今年の小学校6年生の調査問題の一部)

面ファスナー

面ファスナーは、かきやくつなど、さまざまな製品の留具として使われています。簡単にくっつけたら、はがしたりすることができ、とても便利な道具です。

面ファスナーは、一九四八年にスイスで起こったあるまじいことがきっかけで開発されました。狩猟のため、愛犬を連れて山に登ったジョルジュ・デ・メストラルは、犬の毛に野生のゴボウの実がたくさんついていることに気がつきました。不思議に思い、その実を持ち帰って顕微鏡でくわしく調べてみると、ゴボウの実は先の曲がった糸状のトゲでおおわれていることがわかりました。そのトゲが犬の毛にからみついていたのです。このことをヒントにメストラルは研究を重ね、数年後、特殊な素材を使い、面ファスナーを作り出しました。

一九六〇年に、日本ではじめて面ファスナーの製造、販売が始まりました。しかし、そのよさや使い道はなかなか世の中に伝わっていませんでした。広く知られるようになったきっかけは、一九六四年十月の東海道新幹線の開業でした。新幹線の座席のヘッドレストカバー(頭をあてる布)の留具として、面ファスナーが採用されたのです。新幹線の清掃作業の際には、短時間でヘッドレストカバーを交換する必要がありました。そのため、一つ一つ取り外さなければならぬホックやボタンより留め外しの簡単な面ファスナーの方が留具として適していたのです。誰もが注目する新幹線に使われたことで話題となり、その存在が日本中に知られるようになりました。

一九八〇年代には、私たちの身近にある製品でも使われるようになりました。財布やかばん、かざりなどの家庭用品をはじめ、サポーターや血圧計の巻き付けバンドなどの医療用品にも広がりました。布のように柔軟性があり、物や体の形にぴったり合わせることができる面ファスナーが通っていたからです。中でも大流行したのは、面ファスナーを使った運動着でした。ひもづく比べ、手間を省き、手間を省き、合わせやすいので、調整することができるよさが支持されたのです。同時に、素材の開発も進められました。

現在は水に強く、熱にも強い素材で作られているものも増えています。また、しつかりとくっつき簡単にはがすことができる面ファスナーは、宇宙でも使われています。地球のまわりを回る国際宇宙ステーションの中には無重力状態のため、物がうかびます。そこで活躍しているのが面ファスナーです。国際宇宙ステーション内のかや天井には、あらゆる場所に面ファスナーがつけられています。ペンやスプレー、カメラやコンピュータなど、身の回りの全ての物が固定できるようになっています。

一人の気づきから誕生した面ファスナーは、人びとの要求に応える形で、活躍の場を広げました。身近な生活場面だけでなく、宇宙空間にまで広がり、さらなる便利さが追求されています。

はなれている状態
かきやくつになっているフック
はなれている状態
くっついている状態
輪の形になっているループ

面ファスナーの仕組み

国際宇宙ステーションとその内部

【出題の趣旨】 小国-8

目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約する。
《平均正答率》

- ★豊岡市 27.2%
- ★全国 29.7%

『説明文』の問題です。単なる読み取りの知識や、感想を求めるだけの問題ではありません。
★解答のポイント★
①目的(文章を短くまとめる)を意識して
②3つの条件をすべて入れて
③必要な部分を選び、端的に書く

【正答例】
面ファスナーはしっかりとくっつき簡単にはがせることから、物がうかぶ国際うちゅうステーションの中で、身の回りの全ての物の固定に使われている。(69字)

○面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているかについて書くこと。
○「資料」から言葉や文を取り上げて書くこと。
○五十文字以上、七十文字以内にとめて書くこと。

※左のげんご(用紙)は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※●の印から書きましょう。どこの行で書き始めても構いません。続けて書きましょう。

相川さんの学級では、身近にある便利なものについて調べています。相川さんは、面ファスナーを選びました。次は、相川さんが読んで「資料」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料】

面ファスナー

